



大銀杏

根 城



南部師行公

2018年度 第10号

八戸市立根城中学校 平成31年2月27日発行

立てた志を心に留めて～135人の挑戦宣言～



2月13日。1・2年生の保護者参観日。3年生は私立高校の入試に挑み、1年生は初めての実力テストにトライし、2年生は地域や保護者の方々や見守る中、“自立”をテーマに掲げた立志式に臨みました。参加者全員が胸を張り、しっかりと前を見つめ、現在の自分自身を省みて立てた、それぞれの志を「挑戦宣言」として堂々と発表しました。

式は学年代表委員によって進められ、「二度とない人生だから」の群読と「結一ゆいー」の合唱を披露した後、3年生の狩守響子さんからは1年前の立志式を振り返ってのアドバイスが、学年委員長（保護者）の山田誠さんからは激励の言葉が贈られました。

立志式終了後は、八戸学院光星高等学校の校長補佐である小野寺実先生による「いい男と いい女に」と題した記念講演がありました。先生は本校での勤務経験もあり、八戸市教育委員会で指導主事を務めている時には、“さわやか八戸あいさつ運動”や“グッジョブ・ウィーク”をスタートさせた方です。「これまで見てきた立志式の中でも最高級に値する」という絶賛をいただきました。

一人一人が立志の言葉を書き留めた色紙には、家族からの直筆のお祝いメッセージが添えられ、当日配付されたしおりには、思春期の頃に限らず、面と向かってはなかなか言えない、家族への感謝の気持ちが「日本一短い感謝の手紙」として輝いていました。毎日の食事の準備や部活動の送迎への感謝、大きく温かい心で見守ってくれることへの感謝、一生懸命に働いてくれていることへの感謝等が素直な言葉でしたためられていました。一つ紹介します。

**「何があっても味方になる」
その一言に何度も助けられ、背中を押されました。
僕の最強の味方は「家族」です。**

感動いっぱい立志式でした。志を立てた時の想いをこれからも持ち続けてほしいと願っています。

2学期学校評価アンケート（保護者）自由記述から

前号ではアンケート項目に関する学校評価結果をお知らせいたしました。今号では保護者の皆様から寄せられた自由記述内容の主なものを紹介します。

※太字部分は1学期にも寄せられたもの。~~~~~部分は複数の方から寄せられたもの。

①学習指導に関して

- ・放課後の学習会の有無及び時間について周知してほしい。
- ・習熟度別の学習機会を設け、ある程度個に応じた指導を増やしてほしい。
- ・将来の職業についての学習を充実させてほしい。
- ・学校生活の中で本に親しむ時間を確保してほしい。
- ・先生方にとっては叱咤激励のつもり言葉でも、感情的になって発するのであれば、生徒を傷つけてしまうので、その点を配慮してほしい。

②生徒（生活指導）に関して

- ・教師は生徒に対して平等に接してほしい。
- ・いじめ撲滅のために、子どもたちの実態が見えにくいところほど意識して見てほしい。
- ・女子の寒さ対策を検討してほしい。

③部活動に関して

- ・テスト週間中の活動（自主練含む）はやめてほしい。
- ・学校で示した活動時間と休養日をきちんと守ってほしい。
- ・レギュラー優先ではなく、子どもたちに平等にチャンスを与えてほしい。

④その他

- ・配付する印刷物が多過ぎると思う。
- ・通学用のリュックの重量軽減策を考えてほしい。

紙面の都合で「継続と複数」内容のみとなりましたが、これからも安心して生活できる学校をめざし、見直しと改善を進めます。率直なご意見ありがとうございました。なお、意見や要望のほかにも、学校へのエールや感謝も届いています。併せてお礼申し上げます。

八戸市防災給食の日

2011年3月11日に東日本大震災が発生し、大地震や津波で甚大な被害がありました。また、停電になったり、ガソリンなどの燃料や食べ物が不足したりもしました。

八戸市では、この体験を忘れずに防災に対する意識を高めようと、毎年3月11日を「八戸市防災教育の日」と定めています。また、給食センターの水道や電気が止まったときでも給食を食べられるように“ホッとさせるカレー”（温めなくても食べられるレトルトカレー）を非常食として備え、「八戸市防災給食の日」の献立として提供しています。今回は3月5日です。

今日の新聞には、今後30年間において青森県沖や岩手県沖では大地震発生の確率が高いことが報じられていました。いざという時の動きや家族との待ち合わせ場所などを改めて考えながら食べてもらいたいものです。ちなみに翌日のメニューは「じゃじゃ麺」です。

